

……学生のための著作権講座……

Q. 著作権って何？ 大学生にも関係あるの？

A. 著作権とは、**学術・美術・音楽などの文化的な創作物（著作物）を創作した人（著作者）**に認められる様々な権利の総称です。著作物は著作権法という法律によって保護されており、原則として著作者に無断で利用することはできません。ただし、一定の条件を満たせば、著作者の許可がなくても利用することができます。

大学生の場合、授業で使用する資料をコピーしたり、レポートなどで参考となる論文を引用したりと、著作物を利用しなくてはならない機会がたくさんあります。このQ & Aを参考に、ぜひ著作権を身近な問題として考えてみてください。なお、著作権侵害は立派な犯罪行為ですので、ご注意ください。

Q. 図書館で資料をコピーするとき、何に気をつければいいの？

A. 高校時代からコピー機のお世話になっていた人もいるかと思いますが、実はコピー（複製）も著作権法で保護されている権利の一つです。コンビニなどでのコピーは、私的利用として認められる範囲であれば自由に行うことができます（TV番組の録画と同じ）が、図書館でのコピーについては、①**調査・研究の目的**であること、②**著作物の一部分**（半分を越えない程度まで）であること、③**一人につき一部**であること、という3つの条件を満たし、さらに「文献複写申込書」*に記入して提出しなくてはなりません。

*コピー機脇に備付。

文献複写申込書											
申込日		年	月 日								
申込者	氏名	所属	[1.学部生 2.院生 3.教職員 4.その他]								
誌名(書名) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>巻・号・年、ページ</td> <td>複写枚数</td> </tr> <tr> <td>巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____</td> <td></td> </tr> </table>			巻・号・年、ページ	複写枚数	巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____		巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____		巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____		
巻・号・年、ページ	複写枚数										
巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____											
巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____											
巻(vol.) ____号(no.) ____年 p. ____~ ____											
私は、著作権のある資料の複写について、表面に記載する事項を遵守します。											

Q. 授業の発表で使う資料を人数分コピーしたいのですが…？

A. 授業の過程で使用することを目的としたコピーは著作権法で認められていますので、人数分コピーをしても問題はありませぬ。ただし、**必要と認められる範囲内**ですので、むやみにコピーすることは避けましょう。

Q. 雑誌の記事をコピーしたいのですが…？

A. 雑誌には様々な執筆者による記事や論文が掲載されていますので、雑誌1冊を1つの著作物とするのではなく、掲載されている記事や論文を1つの著作物として扱います。そのため、コピーできるのはそれぞれの記事や論文の一部分だけとなります。

ただし、①次号が発行されている（**最新号ではない**）②最新号が発行されてから**3ヶ月以上が経過**しているという条件のいずれかを満たしていれば、記事や論文の全てをコピーできることになっています。

Q. レポートで他の人が書いた文章を使いたいけど、勝手に使ってもいいの？

A. レポートを作成する際、他の人が書いた文章を引用して自分の考えを説明することができますが、**引用の目的上正当な範囲内**であれば、著作者の許可がなくても引用することができます。もちろん、図表などでもOKです。

「引用」を行う際には、① **カギ括弧**などで、**本文（自分のモノ）と引用部分（他人のモノ）をはっきり区別すること**、② **本文が「主」、引用部分はいくまで「従」の関係であり、量的にも本文の方が多いこと**、③ **どこから引用したのか（タイトルやページ数など）を明記すること**、といった点に注意してください。「盗作」にならないよう、十分に気をつけましょう。

Q. 引用文献リストの書き方を教えてください。

A. レポートなどで引用した場合、引用した資料（引用文献）のリストを作成する必要があります。項目や書き方は様々ですが、「SIST02（科学技術情報流通技術基準）」では以下のように定めています。

図書の場合

著者名. 書名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数.

雑誌記事（論文）の場合

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ.

Webページの場合

著者名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).